

第8回障害者パソコンサポーター養成講座カリキュラム（障害福祉コース）

No	科目名	目的 概要
1	障害とは何か	障害とは何か正しく理解する。 4つのバリア（障害）とは何か、障害は個人によって違うこと、特別扱いと配慮の違い、共感的理解とは何か。
2	言語障害について	言語障害とは何か正しく理解する。 日常生活での配慮やパソコンサポート上で気をつけることなど専門家の話を聞く。
3	精神障害について	精神障害とは何か正しく理解する。 日常生活での配慮やパソコンサポート上で気をつけることなど専門家の話を聞く。
4	肢体不自由について	肢体不自由とは何か正しく理解する。 日常生活での配慮やパソコンサポート上で気をつけること等、専門家の話を聞く。
5	視覚に障害のある人とパソコン	コミュニケーション機器としてのパソコンについて、また、今後のサポート上で気をつけることなどを理解する。 視覚に障害のある方が、コミュニケーションや情報収集のために、どのようにパソコンや補助機器を利用しているか等、当事者からの話を聞く。
6	視覚障害について2	視覚障害とは何か正しく理解する。 日常生活での配慮やパソコンサポート上で気をつけること等、専門家の話を聞く。また視覚障害の疑似体験やガイドの方法を学ぶことで、今後のサポートに生かす。
7	知的障害・発達障害について	知的障害・発達障害とは何か正しく理解する。 日常生活での配慮やパソコンサポート上で気をつけること等、専門家の話を聞く。
8	コミュニケーション実習（知的障害）	知的障害・発達障害のある人とのコミュニケーション 知的障害・発達障害のある人と実際に会話をしながら、パソコンサポート上の配慮やコミュニケーションの手法について学ぶ。
9	聴覚に障害のある人とパソコン1	聴覚に障害があり、筆談（要約筆記等）をコミュニケーション手段としている人が、日常生活でどのような情報が必要か、どのようにパソコンを利用しているか等当事者からの話を聞く。
10	聴覚に障害のある人とパソコン2	聴覚に障害があり、手話をコミュニケーション手段としている人が、日常生活でどのような情報が必要か、どのようにパソコンを利用しているか等当事者からの話を聞く。
11	コミュニケーション実習（聴覚障害）	聴覚障害のある人とのコミュニケーション 聴覚障害の疑似体験をしながらパソコン操作をおこなうことで、パソコンサポート上の配慮やコミュニケーションの手法について学ぶ。